

履修コード/科目名称	080701 / 教育臨床 080702 / 教育相談		
開講年度・期	2019年 後期	開講曜日・時限	金曜日 3時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	佐藤 尚人 (サトウ ナオト)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>学校における教育相談の意義と目的を理解した上で、教育相談を進める際に必要な基礎的知識、特にカウンセリングに関する基礎的知識について学ぶ。その際、教師として、生徒の言葉を傾聴する、共感的理解をする等、カウンセリングマインドの基礎をなす事柄について学び、適切な対応をするための知見を深める。また、学校における教育相談を組織的に行うための、校内（スクールカウンセラー含む）、校外専門機関、家庭との連携・協働の在り方について学び、教育相談の具体的な進め方についての理解を深める。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>教育相談は、生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付けることが本講義のテーマであり目標である。</p>		
授業スケジュール	第1回	ガイダンス：教育相談の定義：その意義と課題等の理解	
	第2回	教育相談の意義と理論（1）：教育相談の目的、現状等の理解	
	第3回	教育相談の意義と理論（2）：学校心理学の理論と実践の理解	
	第4回	教育相談の意義と理論（3）：青年期（中学生・高校生）の生徒理解のための青年心理学の理論と実践の理解	
	第5回	教育相談の方法（1）：生徒の不応答、問題行動等の現状、内容、及び対応についての理解	
	第6回	教育相談の方法（2）：カウンセリングの理論の理解①カウンセリングマインドについて	
	第7回	教育相談の方法（3）カウンセリングの理論の理解②基礎的理解（ラポール、傾聴等）	
	第8回	教育相談の方法（4）カウンセリングの理論の理解③発展的理解（繰り返し、共感的理解等）	
	第9回	教育相談の方法（5）教師にとってのカウンセリング理論の必要性と可能性の理解	
	第10回	教育相談の展開（1）：各発達段階、相談内容等に応じた教育相談の実践的理解：具体的な過程の進め方、目標の立て方等について	
	第11回	教育相談の展開（2）：学校体制の整備、及び学校外の各種専門機関との連携・協働の中での組織的教育相談体制作り	
	第12回	教育相談の展開（3）教育相談の具体例から学ぶ①いじめ、不登校、非行等の問題を抱えた生徒の事例	
	第13回	教育相談の展開（4）教育相談の具体例から学ぶ②発達障害の問題を抱えた生徒の事例	
	第14回	教育相談の展開（5）教育相談の具体例から学ぶ③メンタル面でのケアが必要な事例	
	第15回	全体のまとめ・試験	
準備学習	毎回の授業の終わりに、次回の授業の内容の説明、そして、その準備のための課題を出します。課題をきちんとやって授業に参加すること。		
履修上の留意点等	欠席や遅刻をしないことを条件（前提）にして、授業を進めていきます。やむを得ない事情で欠席する場合には、できるだけ事前に相談して対応を考えること。		
成績評価の方法	50 %	試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	

	平常点
	授業への参加の仕方の積極度、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書/テキスト	特定の教科書は用いない。
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	適宜紹介する。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業の内容が抽象的なものに偏らないように、できるだけ教育現場に関わる具体的な事例・内容を引用しながら、参加学生の理解の状況を確認しながら進めていきます。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	